

令和5年第10回

北広島市教育委員会会議録

日時：令和5年9月4日（月）

15時00分～15時50分

場所：市役所3階会議室

○目 次

開会宣言	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
日程第1	会議録署名委員の指名・・・・・・・・	1
日程第2	教育長報告・・・・・・・・	1～2
日程第3	報告第1号 教育行政報告について・・・・・・・・	3～4
	議案第1号 令和5年度北広島市スポーツ賞等受賞者の選考について 【非公開】・・・・・・・・	4～5
	議案第2号 令和5年度北広島市文化賞等受賞者の選考について【非 公開】・・・・・・・・	5～6
日程第4	そ の 他 (1) 北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会について (2) 次回の教育委員会の日程について・・・・・・・・	6～11
閉会宣言	・・・・・・・・・・・・・・・・	11

出席者	教育長	吉 田 孝 志	説明員	教育部長	吉 田 智 樹
	教育委員 (教育長職務代理者)	成 田 郁久美		教育部理事	鹿 野 秀 一
	教育委員	石 上 浩 子		教育総務課長	河 合 一
	教育委員	高 山 隆 二		教育総務課参事	永 坂 隆 之
	教育委員	宮 北 早 苗		学校教育課長	川 又 洋 火
				教育支援課長	澤 井 大 輔
傍聴人	なし		社会教育課長	渡 辺 広 樹	
			文化課長	若 澤 路 子	
			文化課参事	笹 森 和 宏	
			エコミュージアムセンター長	渡 邊 篤 広	
			学校給食センター長	岡 謙 一	
			防災食育施設整備担当参事	伊 達 千 秋	
			記録員	教育総務課主査	田 中 加 奈

開会 15時00分

(議 事 の 経 過)

◎開会宣言

○吉田教育長 ただいまから、令和5年第10回教育委員会会議を開会いたします。議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

◎日程第1 会議録署名委員の指名について

○吉田教育長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員として、宮北委員を指名いたします。

○吉田教育長 日程第2に入ります前に、本日は、議案第1号及び第2号が教育委員会会議規則第16条第1号に該当いたしますことから、非公開とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○吉田教育長 異議なしと認め、議案第1号及び第2号につきましては、非公開といたします。

◎日程第2 教育長報告について

○吉田教育長 日程第2、教育長報告に入らせていただきます。

○吉田教育長 今回は、教育長報告として4点、一般行政報告として吉田教育部長から1点報告させていただきます。

まず始めに、中学校体育連盟全国大会出場についてであります。8月17日(木)から20日(日)にかけて徳島県鳴門市で開催されました第54回全国中学校柔道大会に、東部中学校3年生の廣田芽依さんが、8月21日(月)から23日(水)に愛媛県今治市で開催されました第54回全国中学校ソフトテニス大会に、大曲中学校2年生の井利元瑛太さんと小林樹さんが、8月22日(火)から25日(金)にかけて愛媛県松山市で開催されました第50回全日本中学校陸上競技選手権大会に、広葉中学校3年生の小阪凜さんが、それぞれ出場したところであります。

8月8日(火)には、市役所で激励会を開催したところであり、当日は、選手の皆さんから大会にかける決意表明をいただき、上野市長と私から激励したところであります。

選手の皆さんは、それぞれ、全国大会という大舞台で、日頃の練習の成果を発揮し、ベストを尽くしたとのこととあります。

次に、北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会についてであります。8月23日（水）に室蘭市において開催され、成田委員、石上委員、高山委員、宮北委員と参加してまいりました。

総会では、令和4年度会務報告、令和5年度北海道都市教育長会春季定期総会において承認されました令和4年度決算及び令和5年度予算の報告があり、議案では令和5年度役員の選出が提案され、いずれも原案のとおり承認されたところであります。

また、事例発表においては、近内栄一富良野市教育委員会教育長から「人を育て、地域を創る「地域学校協働活動」の実践と課題」をテーマに講演があり、その後、分散会において「地域学校協働活動の推進について」をテーマに、他市からの参加者と意見交換を行ったところであります。

次に、姉妹都市子ども大使交流事業についてであります。8月3日（木）から6日（日）の日程で、本市の子ども大使（小学生8名、中学生6名、引率4名）が東広島市及び広島市を訪問し、また、8月22日（火）から24日（木）の日程で、東広島市の子ども大使（小学生8名、中学生7名、引率4名）が本市を訪れ、互いのまちの歴史や文化を学ぶとともに、姉妹校交流等を通じて友好の絆を深めたところであります。

8月29日（火）には、帰市報告会を開催し、各子ども大使から学びの成果や実りある交流の様子を聞くことができ、一回りも二回りも成長した姿を実感したところであります。

次に、寄附についてであります。石上車輛株式会社（代表取締役会長 石上剛）様から、子ども達の育成のため学校図書購入費として活用してほしいとの申出があり、8月25日（金）に30万円の寄附をいただいたところであります。

寄附金につきましては、令和5年第4回市議会定例会において、図書購入費寄附金として補正予算案を提案する予定としており、議決後、有効に活用したいと考えております。

私からの報告は以上であります。

○吉田教育部長 続いて、一般行政報告に入らせていただきます。

令和5年度チャレンジジュニアスクールについてであります。優れたリーダーとして成長するために必要な資質の向上及び各スポーツ少年団の交流促進を目的とし、8月3日（木）から5日（土）に、北広島市スポーツ少年団本部（本部長 寺田清隆）と共催し、国立日高少年自然の家を拠点に小学5年生27名の参加のもと開催したところであります。

参加者は沢登りや野外炊飯などの体験プログラムを経験するとともに、8月18日（金）に、事後研修会に臨み、集団行動やリーダーとしての必要な資質について学んだところであります。

私からは以上であります。

○吉田教育長 以上、教育長報告として4点、一般行政報告として1点報告させていただきました。皆さんからご質問等ございますか。

（「なし」の声あり）

○吉田教育長 それでは、教育長報告につきましては、承認とさせていただきます。

◎日程第3 報告第1号 教育行政報告について

○吉田教育長 続きまして、日程第3、議事に入ります。報告第1号、教育行政報告につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○河合教育総務課長 報告第1号、教育行政報告についてであります。別冊1のとおり、市議会第3回定例会に教育行政報告を行うため、教育委員会に報告するものであります。

別冊1をご覧ください。それでは読み上げます。

まず始めに、北海道中学校体育大会についてであります。7月21日から道内各地で開催され、本市からは全ての中学校から8競技に延べ69名の生徒が出場したところであります。

各競技において、それぞれが自分の持てる力を最大限に発揮したところであり、柔道では、東部中学校3年生の廣田芽依さんが個人女子70kg超級で優勝、ソフトテニスでは、大曲中学校2年生の井利元瑛太さんと小林樹さんが個人ダブルスで3位、また、陸上では、広葉中学校3年生の小阪凜さんが女子100mで2位の好成績を収めて全国大会に出場したところであります。

また、8月14日からアルゼンチンのブエノスアイレスで開催された第6回世界デフ水泳選手権大会に、西の里中学校1年生の川眞田結菜さんが出場し、複数の種目において入賞するなど優秀な成績を収めたことから、今後の活躍が大いに期待されるところであります。

出場した生徒にとっては、全道・全国・世界レベルの選手達と対戦したり、交流を深めたりするなど、貴重な体験をすることが出来たものと考えているところであります。

次に、令和5年度姉妹都市子ども大使交流事業についてであります。令和2年から令和4年までの3年間、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止していた相互派遣・受入を、東広島市教育委員会など関係機関との協議を経て4年ぶりに再開したところであります。

まず、8月3日から6日の行程で、両市の友好親善を深めるとともに、平和を尊ぶ心の育成を目的に子ども大使を派遣し、東広島市の姉妹校との交流や広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式への参列などを行ったところであります。

また、8月22日から24日には、東広島市子ども大使団を受入れ、姉妹校交流やエスコンフィールドHOKKAIDOの見学、KUBOTA AGRIFRONTでの農業体験学習などを行ったところであります。

8月29日に開催した帰市報告会では、子ども大使一人ひとりが、平和を考え、互いのまちの歴史や文化を学んだことや、東広島市との充実した交流が図られたことなどの成果が発表されたところであります。

今後、子ども達には、両市の友好親善を深めるため、学校等において学習成果を還流していただきたいと考えております。

あらためて、本事業の実施にあたり、東広島市教育委員会をはじめ、関係の皆様にご尽力いただいたことを深く感謝を申し上げます。

次に、スポーツアカデミー事業「ダンチャレ!!2023」の開催についてであります。北海道日本ハムファイターズとの連携事業として、9月3日にエスコンフィールドHOKKAIDOで開催されたオリックス・バファローズ戦の試合中盤に、市内小学生200名がグラウンド上で

YMCAダンスを発表披露したところであります。

発表に向けては、星槎道都大学ダンス部の方々にご協力いただき、事前に2回の練習を重ねてまいりました。

子どもたちは、エスコンフィールドの大観衆の前で楽しくダンスを発表したところであり、貴重な体験の場を提供いただいた、ファイターズをはじめ関係の皆様へ深く感謝を申し上げるところであります。

次に、市民ジュニア研修交流事業についてであります。寒地稲作成功150周年記念事業として、未来を担う子どもたちが「寒地稲作の祖」である中山久蔵翁の功績を受け継ぐ機会とすること等を目的として、7月28日から3日間の行程で、西部小学校及び西部中学校の児童生徒5名を中山久蔵翁の故郷である大阪府太子町に派遣したところであります。

今回の派遣では、中山久蔵翁が光福寺に寄進した石段を見学したり、太子町立中学校の生徒に聖徳太子の霊廟を守る叡福寺のガイドをしていただき交流を深めるなど、中山久蔵翁や太子町の歴史への理解が深まったものと考えているところであります。

あらためて、本事業の実施にあたり、大阪府太子町教育委員会をはじめ、関係の皆様にご尽力いただいたことを深く感謝を申し上げます。

なお、本事業につきましては、9月23日に開催します寒地稲作成功150周年記念フォーラムの中で、市民の皆様へ報告を行うところであります。

以上であります。

○吉田教育長 ただいまの報告第1号、教育行政報告につきまして、ご質疑等ございますか。

(「なし」の声あり)

○吉田教育長 それでは、報告第1号につきましては、承認とさせていただきます。

◎議案第1号 令和5年度北広島市スポーツ賞等受賞者の選考について【非公開】

【非公開案件の審議等の結果】

原案どおり承認した。(質疑等省略)

◎議案第2号 令和5年度北広島市文化賞等受賞者の選考について【非公開】

【非公開案件の審議等の結果】

原案どおり承認した。(質疑等省略)

◎日程第4 その他

○吉田教育長 日程第4、その他につきまして、北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会分散会について、各委員からご報告いただければと思います。

まず始めに、成田委員からお願いいたします。

○成田委員 私はIグループで、恵庭市の岩渕教育長と赤平市の高橋教育長、帯広市、芦別市、滝川市、室蘭市、網走市と名寄市の教育委員の方々とグループで交流を行いました。

話題に一番上がっていたのが、地域コーディネーターのことについて皆さん課題として持っていて、まず人材がないというところが一番多く聞かれたこと、また、形をつくるのはどの市町村でもできていても、例えばコーディネーターさんがいないこと、学校に派遣する講師の方がいないことといった問題があり、形はできても運営を正しく進めていくことが難しい市町村がすごく多いという感想を持ちました。

あと名寄市は、北広島市でもそうですが、地域と学校と一体となって子どもたちを育てていこうということで、今現在協働みたいな話で進んでいる地域が多い中で、特に小学校等の規模が小さいところ、大きいところが一緒の地域になっていると、どうしても大きい規模のところの意見が通りやすく、不公平感みたいなものがある、もう学校ごとにそういうことで分けてしまったら良いのではないのかという話が名寄市の中では出ていたと言っていました。

北広島市の発表も、時間がない中で準備していただいたように、しっかりと予算を使っていくところも発表させてもらったのですが、それに対して時給はいくらでやっているのかとか、どのような形態で実施しているのかという質問を多くいただきました。ただ、その内訳について、道と国からの補助金で3分の2というところについては、補助金頼りみたいな印象で、補助金が切られた場合どうするのかというような厳しい意見もいただきました。以上です。

○吉田教育長 ありがとうございます。形はできても運営が結構厳しいのではないかという話ですね。

○成田委員 講師で行く人たちも、例えば芦別市とかだとお年寄りの方がどうしても多くなるので、提供できる題材が俳句とか、そういうものに偏りがちになってしまって、現場のニーズと合わないみたいなことは意見として出ていました。

○吉田教育長 多様性になかなか対応できないということですね。ありがとうございます。次に、石上委員お願いいたします。

○石上委員 私はKグループで、江別市と砂川市と稚内市が教育長で、あと北見市、赤平市、深川市、札幌市と北広島市の教育委員で構成されていました。

私も北広島市における学校支援地域本部事業の説明の中で、学校支援コーディネーターがいて、登録されたボランティアの情報を学校に提供していて、この事業は予算を組んで体制ができていくというお話をさせていただきましたところ、江別市と稚内市の教育長から、ボランティアをコーディネーターがどうやって探しているのかということと、補助金はどの市でも申請できるのですかという質問がありました。あと、他の市の発表で、江別市とか北見市はやはり大学が多いため、大学生

の学習支援のボランティアとか、あと工業大学の教授がプログラミングとか理科の実験の授業を行ってくれるということで、大学が多い市ならではの協働活動で、うらやましいなという思いがありました。

あと、ちょっと興味深かったのが江別市の学習サポート事業で、退職教員が学習支援を行っているというのは割とどの市もやっていたのですけれども、初めにまず中学校でそれをやったら受験生を中心にすごく反響があって、成績がぐんぐん伸びたとおっしゃっていました。それから小学校に広がっていったということなので、ぐんぐんという言葉が使われるぐらいなので、相当伸びたのだなと思いました。

○吉田教育長 学習サポート事業というのは、免許がある先生を探して送っているのですね。

○石上委員 はい、その辺は北広島市と同じだなと思ったのですけれども、生徒の学習に対する意欲が、中学生の方がより切端詰まっているというのが提供とニーズが合ったのかなという感じは受けました。

○吉田教育部長 地域支援本部的なことで行っているという意味でしょうか。

○石上委員 江別市は全部ボランティアとおっしゃっていたのですけれども、学習サポートのことはちょっと分かりません。

○吉田教育部長 それは調べてみます。北広島市では、放課後子ども教室の中で退職教員の先生たちから、ボランティアで放課後に子どもたちがその教室で勉強を教えてもらったり、それから図工、工作をやったり、本を読み聞かせしたりというようなこともやっているのです、退職された先生の使い方がもっと拡大して、中学生が受験勉強対策に使えるというようなことであれば、新しい取組かなと思います。

○吉田教育長 それはどういうやり方になっているかちょっと調べてみたほうが良いです。

○石上委員 その事業は地域学校協働活動になるのですか。

○吉田教育部長 そこが微妙なところなので、ちょっと調べてみます。いずれにしても取組として、もし本当にそういう形ができていたら面白い取組だと思います。

○吉田教育長 次に、高山委員お願いいたします。

○高山委員 私はCグループで、9人で構成されていまして、釧路市の岡部教育長さん、それから名寄市の岸教育長さん、それから小樽の林教育長さんと3名いまして、あと札幌市、網走市、三笠市、北広島市、千歳市、美唄市という構成でした。

去年と3名、4名ぐらい同じ地域と教育長さんで、釧路の岡部教育長が同じく去年と引き続き司会をやっておりました。去年は発表したらほとんど終わりだったのですけれども、去年の二の舞はしないということで、1人二、三分厳守でということで、それぞれ話をし終わりました。話をし終わった後で、岡部教育長からまずテーマ設定が悪いという話が出て、地域学校協働活動の捉え方をそれぞれレポートしてくれているのだけれども、捉え方がまちまちで、本当の捉え方をしていないところもあるみたいな話があったので、その後で委員さんが話をしにくい状況になりましたが、どうあれ地域と学校がそれぞれいろんな協働して教育活動を進めていくということは間違いのないことな

ので、それぞれの委員が話をしました。北広島市の発表も、それぞれの地域にコーディネーターがいて、市の事務局にもいらっしゃるといことは非常に手厚いですねと言われました。岸教育長からは、こういうコーディネーターを探すのはなかなか難しい状況にあるので、やりたいと思ってもできないのだけれども、何とか頑張りたいというようなお話もされておりました。予算的にもかなり手厚いということで、北広島市のことをうらやましく、非常に参考になるというか、一緒にいろいろな補助金もいただきながら今後頑張っていきたいというお話で盛り上がっていました。以上です。

○吉田教育長 北広島市中心だったのですか。

○高山委員 そうでもないです。北広島市中心にお話ししましたが、札幌も手厚い状況です。

○吉田教育長 岡部教育長が言うように、地域学校協働活動という概念がばらばらで、人材バンクを持っていれば、もうやっているというだけでは足りないのだろうけれども、まだ皆さん点なのです。

なので、本当に言われている事業がきれいに展開しているのかというと、完成形があまりないのだと思うのです。みなさん途中だったり、部分だったりしている可能性が高いですね。北広島もまだ、パーツはあるけれども、統合化されているかといったら、まだこれからだと思うのです。テーマ設定は確かに難しいと思います。最後に、宮北委員お願いいたします。

○宮北委員 私はLグループで、歌志内市、帯広市は教育長さん、夕張市、江別市、富良野市、札幌市、砂川市、北広島市は委員の8名で分散会を行いました。

自分の中で印象に残っていることは、歌志内市は子どもが70名ということで、2年前に義務教育学校が1校のみになったという話で、中学生に当たる後期課程に地域の住民を講師に招いて数学や英語の指導をしているというところと、あと江別市なのですけれども、私は学生のボランティアのことが印象に残ったのですけれども、3つの大学があるので、その大学で教員を目指す学生がボランティアとして小中で学習支援を行っているということと、あと地域のボランティアの活動の中で、外国人の転入による日本語のサポート活動が全体の半数を占めているということが特に印象に残りました。

それと、砂川市なのですけれども、令和8年度に義務教育学校になるということで、廃校になる学校の活用だったり、その学校の歴史だったり、物をどう保存していったら良いだろうかという話が出て、意見交換の中ではほとんどその話でした。廃校した学校に資料を置くだとか、郷土資料館の1室に学校の歴史が分かるものを、どんなものをどれだけ保存して残していくかというのが課題だということを言っていて、デジタルで残したり、動画で残したり、何かそういった方法もあるよねという話を皆さんでしました。その中で、北広島市はどうかというのを自分で思ったときに、施設利用としては、いこ〜よだったり、エコミュージアムセンターがあったり、郷土資料はあるけれども、実際に統合した4つの団地の小学校が2校になったときに小学校の歴史について北広島はどうなっているのかなと自分の中で思ったのですけれども、実際は自分の中でそういった知識がなかったので、そういったところはどうだったのかなというところと、そういった意味で自分の発言とか発信力をこれからも高めていかないといけないなと感じました。

あと、私はトップバッターだったので、全員が言った後で学校の歴史の保存をどうしたら良いかと

いう話を中心になってしまったので、北広島市に対する質問はなかったのですが、事前にこういった事前の学習会を開いていただいたので、自分としては勉強になってよかったなと思いました。

以上です。

○吉田教育長 地域協働活動からは外れているのではないのですか。

○宮北委員 外れていました。義務教育学校になるときに、その学校の歴史をどうしたら良いかという話でほとんど終わりました。

○吉田教育長 歌志内も砂川も義務教育学校にして市内1校にして、小中一貫教育を進めていらっしゃいます。今後、学校の跡利用とか、その歴史をどうやって保存して後世に伝えるかという課題があるということは分かりましたね。北広島は、団地の小学校4校はいこ～よに、校章、校歌、それから思い出の必要な沿革史などを展示しています。統合時に、捨てるのも忍びないこともあったり、どれを残したら良いかというのは学校によって違うのだろうけれども、そこに最低限のものはそろえようということで、今でも展示しているのです。

○吉田教育部長 ちょうど、いこ～よの2階階段があって、左側がエコミュージアムセンター、右側に研修室があるのですけれども、その研修室の突き当たって右側の奥に各校のボックス、展示ケースみたいなのがあって、まず校旗、それから学校の名板というか、何々小学校と書いたものと、それから航空写真で小学校を全部撮っていたので、その写真を掲載して、下の棚のところに学校として残してほしいというもの、例えばアルバムなども置いておいて、いつでもいこ～よに行ったら、そこを開けて自分の学校の歴史を見たり、そういう学校ごとに残していたものを見られるようにはしてあります。時々なのですけれども、やっぱり見に来るそうです。

○吉田教育長 卒業生とかですわね。

○吉田教育部長 はい。自分の学校はどうなったのかなと見に来られています。うちも他市町村と同じような議論があったのです。教育長が言ったとおり、何を残して、どうするかという議論があって、その後、僕の身長よりちょっと高いぐらい、成田委員ぐらいの大きさと、横幅が僕と河合課長を3人並べたぐらい、このぐらいの幅のちゃんと立派な展示ケース、電気もついているケースにしまっています。もうちょっとエコミュージアムセンター側に持ってこようかという話もあったのですが、電源がうまく取れなく、上に電気がつくようになっているので、今後また考えるかもしれません。

○吉田教育長 統廃合すると、必ずそういうのはどこのまちにも言える話です。ぜひ今度いこ～よへ行ってみてください。

○宮北委員 行ってみます。

○吉田教育長 私は分散会で司会だったので、あまり話す機会がなかったのですが、コミュニティスクールと地域学校協働活動をどのように組み合わせるか、どこの市町村も現在コミュニティスクールが始まっているので、そことの関係をどうするかというのは結構皆さんはお話しされていました。いずれにしても、先ほどからお話ししているように、地域学校協働活動でこうすれば良いというのは皆さんなくて、いろいろ組み合わせでこれからつくっていかねばならないというの

と、人の問題とコーディネーターの配置の問題というのはどうしても大変だということ、やりたくてもできない場合もあるというようなことを皆さんお話されてきました。でも、何か形をつくらなければならないと苦心しているというのが現状のようです。

○吉田教育長 北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会につきまして、全体を通してご質疑等ございますか。

(「なし」の声あり)

○吉田教育長 続きまして、事務局から次回の教育委員会の日程について、説明をお願いいたします。

○鹿野教育部理事 事務局から、次回の教育委員会の日程についてお諮りいたします。

次回第11回教育委員会会議についてであります。10月3日(火)、時間は15時00分から、市役所1階多目的室で開催させていただきたいと思っております。

議案としましては、令和5年度北広島市スポーツ賞、文化賞の受賞者について等を予定しております。

以上であります。

○吉田教育長 次回は、10月3日(火)、時間は15時から市役所1階多目的室で開催ということで皆さまよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎閉会宣言

○吉田教育長 以上で第10回教育委員会会議に付議された議事は全て終了いたしましたので、これにて閉会いたします。本日はご苦労さまでした。

15時50分 閉会

以上、会議を記録し、正確を期するためにここに署名する。

教 育 長

署 名 委 員
